

超精密とメカトロメーション®を追求する
Seibu

第79期 株主報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



西部電機株式会社

株主の皆様へ

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第79期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成24年6月



取締役社長 木村 稔

商品力と販売力の強化で 安定成長を目指します。

当連結会計年度の事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災によって深刻な打撃を受けました。しかしながら、企業の生産活動はサプライチェーンの急速な立て直しが図られ、概ね回復してまいりました。夏以降、超円高の進行やタイの大洪水、さらには欧州の債務危機による世界経済の減速感など先行き不透明な状況が続いておりましたが、欧州不安の一服や円高修正から、業種間の明暗はありますものの、緩やかながらも景気回復の兆しが見えつつあります。

この様な情勢の中で、2010年度から2012年度までの中期経営計画「SAP12(Seibu Action Plan for 2012)」を策定し、当社グループは、「商品力の向上」ならびに「販売力の強化」によって安定成長を実現するよう邁進してまいりました。

その結果、当社グループの連結業績は、企業の国内設備投資計画の見直しや円高による輸出の低迷などの影響もありましたが、東日本大震災の復旧復興需要などもあり、受注高は142億7千7百万円(前期比 8.7%増)、売上高は142億7千6百万円(前期比 14.3%増)となりました。利益面では、コストダウンや経費削減等当社グループを挙げて注力いたしました結果、経常利益は8億1千1百万円(前期比 64.7%増)、当期純利益は2億9千万円(前期比 29.4%増)となりました。

対処すべき課題

次期のわが国経済は、持ち直しの動きが見られますが、海外景気の減速、原油価格の高騰や電力不足などの懸念材料を抱えており、先行き不安定な状況で推移するものと思われます。

当社グループといたしましては、中期経営計画「SAP12」の最終年度であり、どのような環境下でありましても、「商品力の向上」、「販売力の強化」によって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜く所存であります。更にはコストダウンや経費削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、平成24年2月21日に株式会社豊田自動織機と搬送機械事業において、自動倉庫、搬送機械、その他物流機器の設計・製造の委託を受け、その製造機器の製造にあたり必要となる技術および生産の支援を得るため、業務・資本提携を行いました。

この提携によって、当社の事業規模の更なる発展・拡大を実現し、業績と企業価値のより一層の向上を目指してまいります。

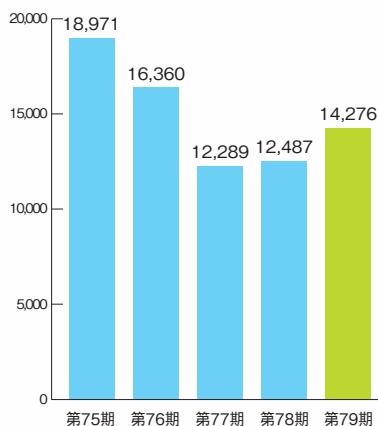
株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

科目	第75期 平成19年度	第76期 平成20年度	第77期 平成21年度	第78期 平成22年度	第79期 平成23年度 (当連結会計年度)
売上高 (百万円)	18,971	16,360	12,289	12,487	14,276
経常利益 (百万円)	1,793	904	473	492	811
当期純利益 (百万円)	880	449	266	224	290
1株当たり当期純利益	62円58銭	31円92銭	18円96銭	15円98銭	20円56銭
総資産 (百万円)	26,388	24,286	22,931	22,982	24,798
純資産 (百万円)	13,983	13,652	14,708	14,292	15,014
1株当たり純資産額	990円48銭	971円27銭	1,046円65銭	1,017円23銭	990円71銭

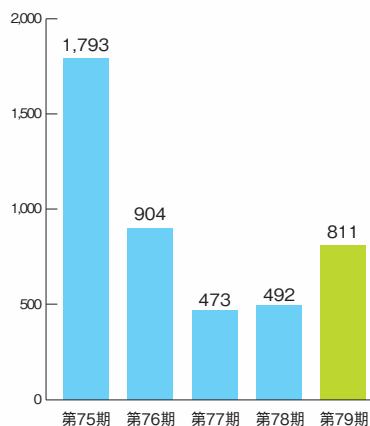
売上高

(単位:百万円)



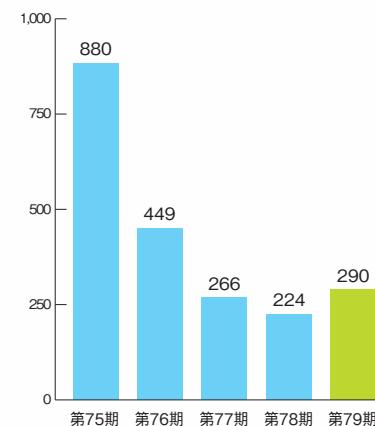
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



主要な事業別営業の概況

搬送機械事業

搬送機械事業では、震災や円高の影響から国内の設備投資の見直しなどがありましたが、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などにピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともに、サービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

その結果、大手機械メーカーからの大口物件の成約もあり、受注高は61億7千5百万円(前期比 15.8%増)、売上高は62億4千2百万円(前期比 24.0%増)となりました。

売上高

(百万円)



売上高

6,242百万円 前期比24.0%増

43.7%

医薬用自動倉庫



搬送・ハンドリングシステム(配分システム)



柑橘類選果施設



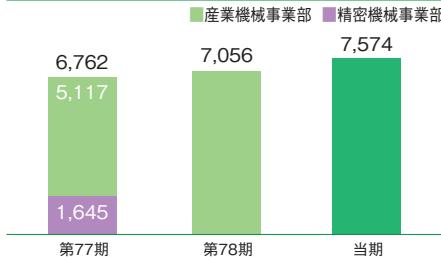
主要商品

- 立体自動倉庫
- 搬送・ハンドリングシステム
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム

産業機械事業

売上高

(百万円)



(注) 当社は、平成22年4月1日より産業機械事業部と精密機械事業部を統合し、「産業機械事業部」とする組織の変更を行っております。

産業機械事業の産機部門では、民間需要の掘り起こしや既存市場におけるシェアアップ、ゲート市場への拡販や震災復旧のためのサービス・メンテナンスに注力してまいりました。

また、精密機械部門では、既存顧客の更新需要や海外の新規商社の開拓に注力するとともに、半導体やデジタル家電、光学、自動車市場などに拡販を図ってまいりましたものの、円高やIT関連市場の需要低迷の影響を受けました。

その結果、受注高は76億3千2百万円(前期比 3.2%増)、売上高は75億7千4百万円(前期比 7.3%増)となりました。

53.1%

売上高

7,574百万円 前期比7.3%増

主要商品

産機部門

バルブアクチュエータ
ゲート駆動装置

精密機械部門

超精密・高精度ワイヤ放電加工機
高精度小形NC旋盤
高精度自由形状研削加工機
正面旋盤

バルブアクチュエータ・プラント



ハイエンドタイプ SuperMM50A



大型電動ピンラック式ゲート駆動装置



ハイスピードローダ連結ライン



Topics & New Product

搬送機械事業

Topics 株式会社豊田自動織機と業務資本提携を締結

当社は(株)豊田自動織機と2012年2月21日付で業務資本提携を締結いたしました。(株)豊田自動織機より自動倉庫・搬送機その他物流機器の設計・製造を受託し、製造した物流機器の据付・アフターサービスを(株)豊田自動織機が行うにあたり、支援するというものです。さらに、資本提携では両社の信頼関係を構築し業務提携を円滑に推進するために、(株)豊田自動織機が当社株式の一部を第三者割当により取得しています。(株)豊田自動織機との関係を強化し、得意分野を相互活用することにより、搬送機市場での競争力を高めるとともに、更なる事業拡大発展を実現していきます。

産業機械事業 産機部門

Topics 南京西部RCS(中国)へ経営参画

西部電機は韓国、台湾および中国の現地企業と技術供与契約を締結しております。その1社である南京西部瀚喬電機機械有限公司(南京西部RCS)に、中国における西部商品の製造・販売の拠点として、昨年経営参画いたしました。意識改善・品質指導・組立指導を進め、商品群も従来機種に加え新商品semflex-VMが立ち上がり好評を得ています。2012年度は、昨年度比3倍増の計画と意気込みも高く、日本からの輸出も視野に入れ工場支援に加えて、営業展開も実施していきます。さらに中国内調達部品を逆輸入し、コストカットへつなぐ資材センターとしても位置付けています。



南京西部 RCS 社屋

産業機械事業 精密機械部門

Topics メカトロテックジャパン2011に出展

『未来へつなぐ、ものづくりNEXT』をテーマに開催された「メカトロテックジャパン2011」へ大型金型プレートの高精度加工を実現するワイヤ放電加工機「MM75A」を出展いたしました。

開催期間中は高精度加工と自動化をコンセプトに、大型精密金型展示と自動供給の実演紹介を行いました。業界初である「コア・ステッチ機能」は、その革命的な中子処理機能に来場者から大絶賛を得ることができました。今後の拡販の起爆剤になることが期待されます。



会期 2011年9月29日(木)～10月2日(日)

会場 ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)

Topics セマット・アジア2011(中国)にバケットクレーン出展

2011年10月に中国上海市で開催された、「セマット・アジア2011」(第12回アジア国際マテリアルハンドリング・自動化技術・輸送システム・ロジスティクス見本市)に、バケットクレーンを初出展いたしました。この展示会では世界80ヶ国から、輸送インフラ・倉庫技術・高度ストレージシステム・マテリアルハンドリング製品等が出展され、中国はもとより世界中から多くの方が視察されます。当社のサーボ駆動バケットクレーンは、西部の商品力と技術力をPRし、来場者から高い評価をいただきました。

中国およびアジアにおける搬送機市場は、今後ますますの発展が期待されます。今回の出展を機会に中国市場での拡販を展開していきます。



会期 2011年10月25日(火)~28日(金)

会場 上海新国際見本市会場(中国・上海市)



出荷を待つVMシリーズ アクチュエータ

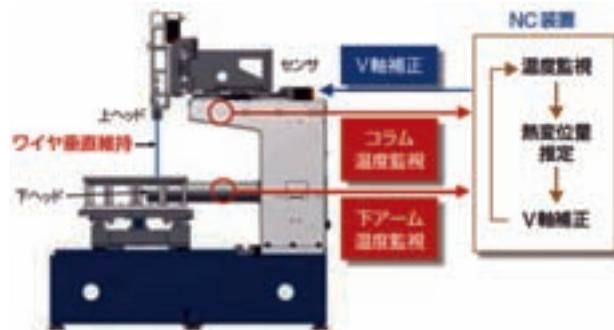
New 可動ラック式ゲート駆動装置の開発

都市環境開発や施設整備を計画する際、固定構造物と自然環境の調和が重視される時代になりました。この様な市場ニーズに応えるために開発したのが、曲がるラック棒「可動ラック式ゲート駆動装置」です。従来は、水門を上昇させるとラック棒が建屋天井よりも突出していましたが、可動ラックではラック棒を曲げて、建屋を考慮した水門設備が実現できます。



New サーマルアジャスト24(新機能)

精密加工の分野で確固たる地位を確立したMAシリーズに、さらなる高精度加工を実現するための新機能「サーマルアジャスト24」を開発。駆動軸(V軸)に補正を加えてワイヤ垂直精度を維持するため、機械の熱変位によるワイヤ線の垂直変動が解消されました。機械が設置された温度環境に左右されることなく高精度加工が実現できる画期的な機能です。



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科目	当期末 平成24年3月31日	前期末 平成23年3月31日
資産の部		
流動資産	13,720	11,553
現金及び預金	5,442	3,701
受取手形及び売掛金	6,463	6,033
仕掛品	692	783
原材料及び貯蔵品	860	772
繰延税金資産	216	194
その他	46	87
貸倒引当金	△ 2	△ 17
固定資産	11,077	11,428
有形固定資産	8,314	8,552
建物及び構築物	2,777	2,913
機械装置及び運搬具	354	429
土地	5,060	5,115
その他	121	95
無形固定資産	18	21
投資その他の資産	2,744	2,854
投資有価証券	1,776	2,011
長期貸付金	29	30
繰延税金資産	472	415
投資不動産	19	19
その他	489	407
貸倒引当金	△ 43	△ 30
資産合計	24,798	22,982

科目	当期末 平成24年3月31日	前期末 平成23年3月31日
負債の部		
流動負債	6,305	4,940
支払手形及び買掛金	4,105	3,185
短期借入金	620	620
未払費用	849	794
未払法人税等	420	203
役員賞与引当金	15	12
受注損失引当金	—	12
その他	294	111
固定負債	3,478	3,749
長期借入金	336	336
長期未払金	3	60
再評価に係る繰延税金負債	1,731	1,989
退職給付引当金	1,156	1,146
役員退職慰労引当金	181	169
その他	69	46
負債合計	9,783	8,689
純資産の部		
株主資本	11,401	10,814
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,502
利益剰余金	6,128	5,944
自己株式	△ 2	△ 291
その他の包括利益累計額	3,612	3,478
その他有価証券評価差額金	461	577
土地再評価差額金	3,150	2,901
純資産合計	15,014	14,292
負債純資産合計	24,798	22,982

連結損益計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	14,276	12,487
売上原価	10,742	9,465
売上総利益	3,533	3,021
販売費及び一般管理費	2,775	2,594
営業利益	757	427
営業外収益	92	84
営業外費用	39	19
経常利益	811	492
特別利益	0	2
特別損失	57	41
税金等調整前当期純利益	754	453
法人税、住民税及び事業税	431	231
法人税等調整額	31	△ 2
少数株主損益調整前当期純利益	290	224
当期純利益	290	224

連結包括利益計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	290	224
その他の包括利益	133	△ 530
包括利益	423	△ 306

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,572	192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 138	△ 116
財務活動によるキャッシュ・フロー	287	△ 113
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,721	△ 38
現金及び現金同等物の期首残高	3,591	3,629
現金及び現金同等物の期末残高	5,312	3,591

連結株主資本等変動計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

当 期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益 累計額合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,502	5,944	△ 291	10,814	3,478	14,292
当期変動額							
剰余金の配当			△ 105		△ 105		△ 105
当期純利益			290		290		290
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
自己株式の処分		113		289	403		403
土地再評価差額金の取崩			△ 0		△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						134	134
当期変動額合計	—	113	184	289	587	134	721
当期末残高	2,658	2,616	6,128	△ 2	11,401	3,612	15,014

単体財務諸表(要約)

貸借対照表

単位:百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	当期末	前期末
	平成24年3月31日	平成23年3月31日
資産の部		
流動資産	13,013	10,841
固定資産	11,131	11,480
有形固定資産	8,361	8,597
無形固定資産	16	19
投資その他の資産	2,754	2,864
資産合計	24,145	22,322
負債の部		
流動負債	6,130	4,730
固定負債	3,442	3,718
負債合計	9,572	8,448
純資産の部		
株主資本	10,963	10,397
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,502
利益剰余金	5,690	5,527
自己株式	△ 2	△ 291
評価・換算差額等	3,609	3,476
純資産合計	14,573	13,873
負債純資産合計	24,145	22,322

損益計算書

単位:百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	当期	前期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	13,539	11,805
売上原価	10,252	9,013
売上総利益	3,286	2,792
販売費及び一般管理費	2,578	2,412
営業利益	707	380
営業外収益	92	88
営業外費用	39	19
経常利益	760	449
特別利益	0	1
特別損失	57	41
税引前当期純利益	703	408
法人税、住民税及び事業税	402	202
法人税等調整額	31	△ 2
当期純利益	269	208

株主資本等変動計算書

単位:百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

当 期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	株主資本					評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,502	5,527	△ 291	10,397	3,476	13,873
当期変動額							
剰余金の配当			△ 105		△ 105		△ 105
当期純利益			269		269		269
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
自己株式の処分		113		289	403		403
別途積立金への積立			—		—		—
圧縮記帳積立金の積立			—		—		—
圧縮記帳積立金の取崩			—		—		—
土地再評価差額金の取崩			△ 0		△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						133	133
当期変動額合計	—	113	163	289	566	133	699
当期末残高	2,658	2,616	5,690	△ 2	10,963	3,609	14,573

会社の概況・株式の状況 (平成24年3月31日現在)

会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	389名(連結429名)

役員 (平成24年6月28日現在)

取締役会長 (代表取締役)	吉住一成
取締役社長 (代表取締役)	木村 皚
専務取締役	宮地 敬四郎
常務取締役	藤岡 敬正
取締役	木谷 泰博
取締役	中里 晋也
取締役	税所 幸一
取締役	溝田 安彦
常勤監査役	大串 秀文
監査役	小西 正純
監査役	鬼頭 正雄

(注) 監査役小西正純、鬼頭正雄の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

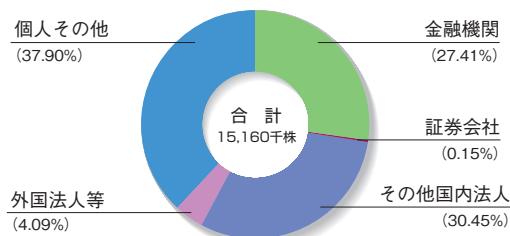
発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,521名

大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社安川電機	2,630千株	17.35%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,215千株	8.01%
株式会社豊田自動織機	1,106千株	7.29%
株式会社三菱東京UFJ銀行	650千株	4.29%
株式会社福岡銀行	633千株	4.17%
みずほ信託銀行株式会社	626千株	4.13%
株式会社西日本シティ銀行	589千株	3.88%
CGML-IPB CUSTOMER COLLATERAL ACCOUNT	544千株	3.58%
西部電機従業員持株会	406千株	2.68%
村上 博	215千株	1.41%

- (注) 1. 持株比率は自己株式(4,860株)を控除して計算しております。
2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から平成24年3月12日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、平成24年3月5日現在同社が1,729,000株(保有割合11.41%)を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。
3. 平成24年2月21日開催の取締役会において、株式会社豊田自動織機との業務・資本提携に伴う第三者割当による自己株式の処分について決議し、平成24年3月12日に自己株式1,106,000株を処分しております。

所有者別分布状況



■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.seibudenki.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座が開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次ぎいたします。 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行株式会社の下記連絡先にお問い合わせください。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル0120-288-324（土・日・祝日を除く9:00～17:00）
お取扱店	みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店、プラネットブース（株式会社みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券株式会社では取次のみとなります。)

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬溪流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。



この報告書は植物油インクを使用しております

ホームページのご案内

<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

西部電機

検索

